



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月9日

上場会社名 株式会社コンフィデンス・インターワークス 上場取引所 東
コード番号 7374 URL <https://ciw.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 澤岷 宣之
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理管掌 (氏名) 永井 晃司 TEL 03(5312)7700
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	2,170	54.0	349	23.8	350	42.6	223	33.7
2024年3月期第1四半期	1,409	12.7	282	19.6	245	4.0	167	7.3

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 222百万円 (33.1%) 2024年3月期第1四半期 167百万円 (7.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	35.08	34.71
2024年3月期第1四半期	36.18	35.36

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	6,278	5,150	81.5
2024年3月期	7,184	5,970	82.7

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 5,114百万円 2024年3月期 5,939百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	25.00	—	30.00	55.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	30.00	—	35.00	65.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	4,306	32.5	570	1.6	571	11.8	358	6.3	57.00
通期	9,000	20.2	1,400	17.1	1,401	22.6	882	21.6	140.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期1Q	6,657,377株	2024年3月期	6,655,177株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	537,526株	2024年3月期	6,300株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期1Q	6,376,379株	2024年3月期1Q	4,625,046株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P.4「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、製造業においては認証不正問題の影響等から自動車業界が景況悪化の傾向を示すも、素材業種の改善により若干の景況感の改善となり、非製造業においては原材料・エネルギーコスト高の影響等やコロナ後の挽回需要やインバウンド需要の一巡から、小売りや対個人サービス等を中心に、予想されたとおり小幅ながら4年ぶりの悪化となっております。

設備投資は過去平均を上回る伸びを示しているものの、自動車の認証不正における新たな問題の発覚が製造業の生産回復を阻害しており、非製造業では原材料・エネルギーコスト高に加えて人手不足や人件費増が懸念され、先行きの不透明感が増しております。

また、当社グループ全体の事業領域である人材ビジネス市場の状況は、2024年5月の完全失業率（季節調整値）は2.6%（前年同月2.6%、前月2.6%）、有効求人倍率（季節調整値）は1.24倍（前年同月1.31倍、前月1.26倍）、新規求人倍率（季節調整値）は2.16倍（前年同月2.36倍、前月2.17倍）の国内雇用状況であり、若干の下落傾向を示しつつも高水準にて堅調に推移しております。

当社グループの主要な事業である「HRソリューション事業 人材派遣・受託」が主にサービス提供を行っているゲーム業界においては、国内ゲーム市場は2兆316億円となっており前年比1.4%増と微増、一方で、世界のゲームコンテンツ市場規模は2兆68,005億円となっており同一為替レートでは前年比7.0%減となっており（出典：ファミ通ゲーム白書2023）、コロナ禍の巣ごもり需要が一服した反動が影響していると想定されます。

しかしながら、国内・世界ともにゲーム市場は一定規模を確保しながら概ね堅調に推移しております。

このような環境の中、当社グループの「HRソリューション事業 人材派遣・受託」では、モバイルゲーム市場が軟調に推移しているものの主力のゲーム会社向け派遣事業において配属者数を拡大するため、新規取引先の開拓のみならず、既存取引先のさらなる深耕を継続して取り組んでおります。

また、「HRソリューション事業 人材紹介」及び「メディア&ソリューション事業」の大半は、2023年8月1日付の株式会社インターワークスとの合併により組み込まれたものであり、雇用環境の情勢を反映して業績は堅調に推移しております。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間の経営成績は、売上高2,170,502千円（前年同期比54.0%増）、営業利益349,792千円（前年同期比23.8%増）、経常利益350,311千円（前年同期比42.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益223,685千円（前年同期比33.7%増）となりました。

報告セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

<HRソリューション事業 人材派遣・受託>

主要な事業である「HRソリューション事業 人材派遣・受託」におきましては、主力のゲーム会社向け人材派遣サービス、並びにゲーム会社を中心とした顧客からの受託サービスを展開しております。

「HRソリューション事業 人材派遣・受託」では、中長期的には成長が見込まれるもコロナ禍の巣ごもり需要が一服した反動等により軟調に推移するゲーム市場に対して、安定的な事業の継続拡大を企図して、ゲーム業界の大手並びに中堅企業への網羅的な求人獲得活動の継続、ゲーム業界志望者に対する効率的なマーケティング活動の実施、業界向けイベント開催を通じた当社認知度の向上等に取り組んでおります。

人材派遣サービスにおいては、モバイルゲーム市場が軟調に推移する中、家庭用ゲーム市場の人材ニーズは堅調であり、当該外部環境変化への対応を図っているものの取組みが過渡期となっております。この結果、クリエイター配属数については軟調に推移しております。

このような状況に対し、ゲーム及びエンターテインメントの周辺領域への取り組み、商圏の拡大を企図した取り組みである関西圏及び九州圏への進出、また、取り扱う契約形態の多様化観点からフリーランスマッチング市場への参入を進め、売上基盤の拡大に努めております。クリエイター配属数を増加に転じさせるため、引き続き、新規取引先の開拓に加え、既存取引先の部署別・タイトル別開拓を行うことにより、受注案件数を拡大してまいります。クリエイターの採用市場においては、採用媒体の選定や採用広告の出稿配分を最適化することにより、ゲーム会社からの需要に応えられるクリエイターを採用しており、これに加えて、自社の求人メディアを開設することにより求職者の応募チャネルの増加を図っております。

受託サービスにおいては、主にゲームタイトルのデバッグ業務を受託しており、守秘性が高いことから、新宿区に専用オフィスを設置しております。現在稼働中の案件は安定的に推移しており、人材派遣事業との連携を図り、新規案件のリード獲得数増加に努めております。

これらの結果、当セグメントの業績は、売上高1,406,996千円（前年同期比1.6%増）、セグメント利益354,738千円（前年同期比6.2%減）となりました。

<HRソリューション事業 人材紹介>

「HRソリューション事業 人材紹介」におきましては、メーカー・建設・不動産・エネルギー・IT・ゲーム・エンタメ等の業界を中心とした顧客企業に対して、アップミドル層を中心とした高いプロフェッショナル性を持つ求職者を紹介する職業紹介サービスを展開しております。なお、係る事業の大半は、2023年8月1日付の株式会社インターワークスとの合併により組み込まれたものであります。

「HRソリューション事業 人材紹介」の市場において、構造的な労働力不足を背景に、国内企業における人材ニーズは各業界共通して高水準が維持されている反面、賃上げなどによる待遇改善が進んでいることから転職市場における人材の流動性が鈍化しております。

この市場動向に対して、採用ニーズの高い企業向けの専任アカウンティングチームを編成、独自の求職者獲得施策を進めることにより生産性を向上させ、1社当たりの取引総量増加に向けた活動を強化しております。

これらの結果、当セグメントの業績は、売上高384,473千円（前年同期比2,162.5%増）、セグメント利益133,902千円（前年同期比1,784.6%増）となりました。

<メディア&ソリューション事業>

「メディア&ソリューション事業」におきましては、製造業界・工場に特化した求人メディア「工場ワークス」をはじめ、女性向けメディアの「Lovely」や、古いメディアの「plush.」など各種メディアを運営しております。

また、受託・その他のサービスとして、長年にわたり積み重ねたノウハウとHRTechを活用した採用アウトソーシングコンサルティングにより、企業の採用課題の解決を支援するサービス等を展開しております。なお、係る事業の大半は、2023年8月1日付の株式会社インターワークスとの合併により組み込まれたものであります。

「メディア&ソリューション事業」の主な市場において、コロナ後の挽回需要やインバウンド需要の一巡や自動車業界が景況悪化の傾向を示すも、製造業全体の景況は若干改善し、非製造業も概ね高い水準での景況感を維持しており、人材の獲得が困難な状況が継続しております。

また、新卒・中途のいずれの採用領域も既存の求人メディアのほかダイレクトリクルーティングサービスや人材紹介サービス、SNS系スカウトサービスなど様々な転職支援サービスが立ち上がり（「メディアとプラットフォームの分散化」）、求職者側の転職行動が多様化し人材の獲得難に拍車がかかる状況となっております。

メディアサービスにおいては、「応募者対応」組織を設置し、希望条件に合った求人案内や面接対策・書類作成支援など転職応募から面接・採用に至るまでの応募者対応サービスを展開し、SNSを活用した集客プロモーションとコミュニケーションツールの導入を進め、求職者との接点量拡大とLTV向上によるユニークユーザー数の拡大を図り、集客チャネルが多様化する中で集客効率の高いチャネルを見極めて費用投下し、緻密なアロケーションを実施することで広告プロモーション適正化を図っております。

採用支援サービスにおいては、業務シェアリングとプロジェクト間の人材ローテーションを実施し、業務プロフェッショナル人材の育成に取り組んでおります。

これらの結果、当セグメントの業績は、売上高379,031千円（前年同期比5,518.3%増）、セグメント利益124,802千円（前年同期比3,129.4%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて905,738千円減少し、6,278,823千円となりました。これは主に、自己株式取得、配当金の支払、及び納税等を反映した現金及び預金の減少772,154千円、減価償却を反映したソフトウェアの減少14,616千円、償却を反映したのれんの減少41,245千円、及び繰延税金資産の減少12,807千円等によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べて85,415千円減少し、1,128,507千円となりました。これは主に、未払金の減少28,112千円、未払費用の増加23,261千円、納税を反映した未払法人税等の減少110,682千円等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて820,322千円減少し、5,150,315千円となりました。これは主に、利益剰余金の増加24,219千円、自己株式の取得850,166千円によるものであります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の82.7%から81.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想につきましては、2024年5月10日の「2024年3月期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。なお、業績見通しは、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因等により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,089,380	3,317,225
売掛金	818,642	789,079
未収入金	5,462	5,376
その他	100,161	74,665
貸倒引当金	△5,212	△525
流動資産合計	5,008,434	4,185,821
固定資産		
有形固定資産		
建物	123,452	123,732
減価償却累計額	△55,943	△67,178
建物(純額)	67,508	56,553
工具、器具及び備品	97,268	99,900
減価償却累計額	△69,604	△71,680
工具、器具及び備品(純額)	27,663	28,219
有形固定資産合計	95,172	84,772
無形固定資産		
ソフトウェア	146,091	131,474
のれん	1,539,817	1,498,572
無形固定資産合計	1,685,908	1,630,046
投資その他の資産		
投資有価証券	15,000	15,000
繰延税金資産	151,604	138,797
差入保証金	224,133	223,600
その他	4,331	5,471
貸倒引当金	△22	△4,686
投資その他の資産合計	395,046	378,183
固定資産合計	2,176,127	2,093,002
資産合計	7,184,561	6,278,823

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	3,159	3,159
買掛金	83,755	83,076
未払金	225,063	196,950
未払費用	326,041	349,303
未払法人税等	231,617	120,935
未払消費税等	154,827	172,664
預り金	29,776	46,287
契約負債	1,245	1,737
返金負債	7,818	7,118
賞与引当金	142,088	139,473
流動負債合計	1,205,394	1,120,707
固定負債		
長期借入金	8,529	7,800
固定負債合計	8,529	7,800
負債合計	1,213,923	1,128,507
純資産の部		
株主資本		
資本金	520,784	521,334
資本剰余金	3,893,706	3,894,256
利益剰余金	1,535,227	1,559,446
自己株式	△10,143	△860,309
株主資本合計	5,939,574	5,114,727
新株予約権	27,403	32,856
非支配株主持分	3,660	2,732
純資産合計	5,970,638	5,150,315
負債純資産合計	7,184,561	6,278,823

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	1,409,111	2,170,502
売上原価	891,999	1,083,460
売上総利益	517,111	1,087,042
販売費及び一般管理費	234,535	737,249
営業利益	282,576	349,792
営業外収益		
受取利息及び配当金	—	16
受取家賃	92	612
その他	—	226
営業外収益合計	92	854
営業外費用		
支払利息	37	27
支払手数料	36,778	308
その他	265	—
営業外費用合計	37,081	336
経常利益	245,586	350,311
特別損失		
事務所移転費用	—	4,325
特別損失合計	—	4,325
税金等調整前四半期純利益	245,586	345,986
法人税、住民税及び事業税	73,848	110,422
法人税等調整額	4,409	12,807
法人税等合計	78,257	123,229
四半期純利益	167,329	222,757
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△928
親会社株主に帰属する四半期純利益	167,329	223,685

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	167,329	222,757
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
四半期包括利益	167,329	222,757
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	167,329	223,685
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△928

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年5月10日開催の取締役会決議に基づき、自己株式530,000株の取得を行いました。この結果、当第1四半期連結累計期間において、単元未満株式の買取りと併せて自己株式が850,166千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が860,309千円となっております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	3,758千円	27,928千円
のれんの償却額	—	41,245千円

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	HRソリューション事業 人材派遣・受託	HRソリューション事業 人材紹介	メディア& ソリューション 事業	計		
売上高						
人材派遣	1,331,198	—	—	1,331,198	—	1,331,198
職業紹介	—	16,993	—	16,993	—	16,993
求人広告	—	—	—	—	—	—
受託・その他	54,173	—	6,746	60,919	—	60,919
顧客との契約から生じる 収益	1,385,371	16,993	6,746	1,409,111	—	1,409,111
外部顧客への売上高	1,385,371	16,993	6,746	1,409,111	—	1,409,111
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,385,371	16,993	6,746	1,409,111	—	1,409,111
セグメント利益	378,091	7,105	3,864	389,060	△106,483	282,576

(注) 1. セグメント利益の調整額△106,483千円には、各報告セグメントに配分されていない全社費用106,483千円が含まれております。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	HRソリューション事業 人材派遣・受託	HRソリューション事業 人材紹介	メディア& ソリューション 事業	計		
売上高						
人材派遣	1,344,239	—	—	1,344,239	—	1,344,239
職業紹介	—	384,473	—	384,473	—	384,473
求人広告	—	—	259,164	259,164	—	259,164
受託・その他	62,757	—	119,867	182,624	—	182,624
顧客との契約から生じる 収益	1,406,996	384,473	379,031	2,170,502	—	2,170,502
外部顧客への売上高	1,406,996	384,473	379,031	2,170,502	—	2,170,502
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,406,996	384,473	379,031	2,170,502	—	2,170,502
セグメント利益	354,738	133,902	124,802	613,443	△263,650	349,792

(注) 1. セグメント利益の調整額△263,650千円には、のれんの償却額16,498千円、各報告セグメントに配分されていない全社費用247,152千円が含まれております。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する情報

前第2四半期連結会計期間の2023年8月1日付で株式会社インターワークスを吸収合併し、社名を株式会社コンフィデンス・インターワークスへ変更しております。これに伴い、当社グループの事業領域が大幅に拡大したことから、前第2四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を「HRソリューション事業 人材派遣・受託」、「HRソリューション事業 人材紹介」、「メディア&ソリューション事業」の区分へ変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。